

独立行政法人国立特別支援教育総合研究所における 教員の専門性向上に関する取組について

指導者の養成

特別支援教育専門研修

障害種別に対応した専門性及び指導力の向上を目的とする研修（約2か月）

- ①発達障害・情緒障害・言語障害教育コース（5月～7月）
- ②知的障害教育コース（9月～11月）
- ③視覚障害・聴覚障害・肢体不自由・病弱教育コース（令和4年1月～3月）

インクルーシブ教育システムの充実に関わる指導者研究協議会等

国の政策的課題の推進や教育現場の喫緊の課題に対応する指導者の養成を目的とする研修（各1日）

- ①特別支援教育におけるICT活用に関わる指導者研究協議会（8月23日）
- ②高等学校における通級による指導に関わる指導者研究協議会（9月3日）
- ③交流及び共同学習推進指導者研究協議会（11月19日）
- ④発達障害教育実践セミナー（令和4年1月27日）
- ⑤特別支援学校寄宿舎実践指導者協議会(連携研修)（7月21日）
- ⑥難聴児の切れ目ない支援体制の構築と更なる支援の推進に向けた地区別研究協議会

（3地区）

昭和46年のNISE創設と同時に研修事業を開始して以来、令和3年3月31日現在、
特別支援教育専門研修 受講者数 9,838名 その他の研修の受講者数 12,393名

○特別支援教育専門研修

＜目的＞ インクルーシブ教育システムの充実に向け、障害のある幼児児童生徒の教育を担当する教職員を対象として、多様な学びの場（通常の学級、通級による指導、特別支援学級、特別支援学校）における各障害種別の指導者（スクールリーダー）の専門性向上を目的とし、専門的知識及び技術を深め、指導力の一層の向上を図り、今後の各都道府県等における指導者としての資質を高める。

また、特別支援学校教員においては、幼稚園・小学校・中学校・義務教育学校・高等学校・中等教育学校を含む地域支援の一層の充実を目指し、地域の中核となるようその専門性の向上を図る。

①**第一期 発達障害・情緒障害・言語障害教育コース**
(募集人員：70名)
期 間：令和3年5月10日(月)～7月9日(金)

②**第二期 知的障害教育コース**
(募集人員：70名)
期 間：令和3年9月8日(水)～11月12日(金)

③**第三期 視覚障害・聴覚障害・肢体不自由・病弱教育コース**
(募集人員：70名)
期 間：令和4年1月11日(水)～3月16日(水)

オンラインを基本に、集合・宿泊（2グループ、各5日）を組み合わせ実施予定。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、**第一期専門研修及び第二期専門研修は、集合・宿泊は取りやめ、全てオンラインで実施。**

免許法認定講習の実施について

特別支援教育専門研修の受講者のうち、希望する者に対して、教育職員免許法施行規則第7条表第一欄、第二欄及び第三欄に掲げる科目の一部又は全部の単位を取得できる免許法認定講習を開設し、特別支援学校教諭免許状の取得等に必要な単位を授与している。

取得可能な単位

①特別支援教育専門研修(視覚障害・聴覚障害・肢体不自由・病弱教育コース)で取得できる単位

(第一欄) 特別支援教育原理Ⅰ 1単位

(第二欄) 視覚障害児の心理、生理及び病理 2単位／視覚障害児指導法 2単位

聴覚障害児の心理、生理及び病理 2単位／聴覚障害児指導法 2単位

肢体不自由児の心理、生理及び病理 1単位／肢体不自由児指導法 2単位

病弱児の心理、生理及び病理 1単位／病弱児指導法 2単位

(第三欄) 重複障害・LD等教育総論Ⅰ 2単位

②特別支援教育専門研修(知的障害教育コース)で取得できる単位

(第一欄) 特別支援教育原理Ⅲ 1単位

(第二欄) 知的障害児の心理、生理及び病理 1単位／知的障害児指導法 2単位

(第三欄) 重複障害・LD等教育総論Ⅲ 2単位

③特別支援教育専門研修(発達障害・情緒障害・言語障害教育コース)で取得できる単位

(第一欄) 特別支援教育原理Ⅱ 1単位

(第三欄) 重複障害・LD等教育総論Ⅱ 2単位

○指導者研究協議会等

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、オンデマンド及びオンラインで実施。

①特別支援教育におけるICT活用に関わる指導者研究協議会（募集人員：70名）

＜目的＞各都道府県教育委員会・センター等の指導主事及び指導的立場にある幼稚園・小学校・中学校・義務教育学校・高等学校・中等教育学校・特別支援学校の教員を対象に、特別支援教育における教育支援機器等の活用に関する専門的知識を深め、各地域における指導・支援の充実を図る。

＜期間＞ 令和3年8月23日(月)

②高等学校における通級による指導に関わる指導者研究協議会（募集人員：70名）

＜目的＞各都道府県等において、高等学校における通級による指導に関わる指導主事及び担当教員を対象に、研究協議等を通じ、担当者の専門性の向上及び高等学校における通級による指導の理解推進を図る。

＜期間＞ 令和3年9月3日(金)

③交流及び共同学習推進指導者研究協議会（募集人員：70名）

＜目的＞各都道府県教育委員会・センター等の指導主事及び指導的立場にある幼稚園・小学校・中学校・義務教育学校・高等学校・中等教育学校・特別支援学校の教員を対象に、研究協議等を通じ、各地域における交流及び共同学習と障害の理解推進を図る。

＜期間＞ 令和3年11月19日(金)

④発達障害教育実践セミナー（募集人員：70名）

＜目的＞教育委員会及び教育センター等の研修担当の指導主事等を対象として、発達障害に関する専門的知識を深め、研究協議等を通して、各地域における発達障害教育の実践的な指導力の向上を図る。

＜期間＞ 令和4年1月27日(木)

⑤特別支援学校寄宿舎指導実践協議会（募集人員：50名）

＜目的＞特別支援学校寄宿舎における幼児児童生徒の生活指導等に関して、各都道府県等の寄宿舎指導員による実践発表、情報交換等を行い、寄宿舎における指導の充実を図る。

＜期間＞ 令和3年7月21日(水)

⑥難聴児の切れ目ない支援体制構築と更なる支援の推進に向けた地区別研究協議会

＜目的＞難聴児の早期支援に関わる全国の特別支援学校（聴覚障害）乳幼児教育相談担当者等の専門性の向上を図るとともに、保健・医療・福祉・教育関係者間の連携を促進する。

＜期間＞ オンデマンド（令和3年7月20日～令和4年1月11日）

オンライン（令和3年10月21日(木)、11月24日(水)、12月17日(金)）

インターネットによる講義配信 **NISE 学びラボ** ~特別支援教育eラーニング~

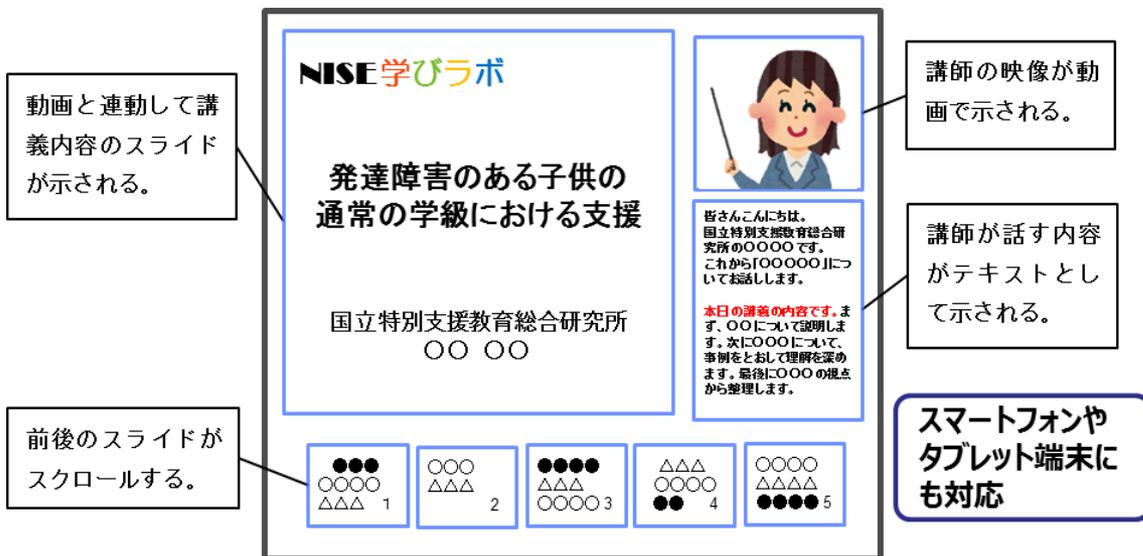
障害のある児童生徒等の教育に携わる教職員の資質向上を図る主体的な取組を支援するため、インターネットによる講義配信「NISE学びラボ」特別支援教育eラーニングを行っています。

講義コンテンツ分類

- ① 特別支援教育全般
- ② 障害種別の専門性
- ③ 通常の学級における学びの困難さに応じた指導

団体登録により研修プログラムが設定できます！

教育委員会等の機関が主催する研修等で、受講者のニーズに合わせて複数の講義コンテンツを組み合わせた研修プログラムが設定できます。修了者には視聴証明書を発行します。



スライド及びテキストの内容はPDF形式でダウンロードできる。

映像講義のイメージ

No	研修プログラム
1	インクルーシブ教育システムについて学ぶ
2	特別支援教育コーディネーターになったら
3	特別支援学級(知的障害)の担任になったら
4	特別支援学級(自閉症・情緒障害)の担任になったら
5	特別支援学校の教員になったら
6	通級による指導の担当者になったら
7	小学校・中学校等の管理職になったら
8	高等学校段階における特別支援教育
9	幼児期における特別支援教育
10	全ての教職員を対象に: 本人・保護者に寄り添った指導・支援のために

NISE 学びラボ の視聴方法

1. ログイン画面 URL : http://www.nise.go.jp/nc/training_seminar/online

付与されたIDとパスワードでログインします。

初めての方は、画面右「利用申請」から利用申請を行ってください。



2. コンテンツの選択

コンテンツ一覧から視聴したい講義のコンテンツを選択します。

団体申込みも可能です。
詳細は a-manabilabo@nise.go.jp まで



ログイン後のホーム画面です。
「コンテンツ一覧」のボタンを押します。

150以上の講義コンテンツが、「分類」→「コース」→「コンテンツ」という階層で整理されています。それぞれの階層リストから興味のある内容を選び、視聴したいコンテンツを選択します。

免許法認定通信教育

平成28年10月開講

無料

視覚障害領域
聴覚障害領域
第2欄の科目

NISEが実施する免許法認定通信教育

講義・教材配信システム
インターネットを利用した
・受講申込の受付
・放送講義・教材の配信
・受講状況確認

受講者のいる都道府県を中心に、全国の複数会場で単位認定試験を実施

パソコン・スマートフォン・タブレット端末等で講義を視聴

免許法認定通信教育総合情報サイト
<http://forum.nise.go.jp/tsushin/>

当面の開講スケジュール（予定）

前期 令和3年5月～令和3年8月

視覚障害教育 教育課程及び指導法

聴覚障害教育 教育課程及び指導法

※ 単位認定試験：令和3年9月11日（土）全国複数会場

後期 令和3年10月～令和4年1月

視覚障害教育 教育課程及び指導法

聴覚障害教育 教育課程及び指導法

※ 単位認定試験：令和4年2月6日（日）全国複数会場

※ 令和4年度「心理、生理及び病理」の科目を開講予定

申込み方法はホームページをご覧ください。

<http://forum.nise.go.jp/tsushin/>

受講対象者

特別支援学校や特別支援学級に勤務し、特別支援学校教諭免許状を保有していない教員を優先します。

必要な単位を全て修得

特別支援学校教諭免許状を取得

大学・教育委員会等が実施する免許法認定講習等

その他修得すべき科目

特別支援学校教員の特別支援学校教諭免許状取得率向上に寄与

研究活動

- 以下のような研究区分により、40名の研究職員が、学校や教育関係者、研究者、関係機関等と協力しながら、特別支援教育に関する研究のうち主として実際的な研究を総合的に実施。

重点課題研究

文部科学省との緊密な連携のもとに、国の特別支援教育政策の推進、又は教育現場等の喫緊の課題解決に寄与する研究（2～3年間）

<令和3年度より開始している研究>

- (1) 教育課程に関する研究(国への政策貢献)
 - ・学習指導要領に基づく教育課程の編成・実施・評価・改善に関する研究
- (2) 切れ目ない支援の充実に関する研究(教育現場等の喫緊の課題に対応)
 - ・ICT等を活用した障害のある児童生徒の指導・支援に関する研究
 - ・障害のある子どもの就学先決定の手続きに関する研究
 - ・高等学校における障害のある生徒の社会への円滑な移行に向けた進路指導と連携の進め方等に関する研究
 - ・通常の学級における多様な教育的ニーズのある児童生徒の教科指導上の配慮に関する研究

障害種別特定研究

各障害種における喫緊の課題の解決に寄与する研究（2年間）

<令和3年度より開始している研究>

- ・知的障害教育における授業づくりと学習評価に関する研究

その他

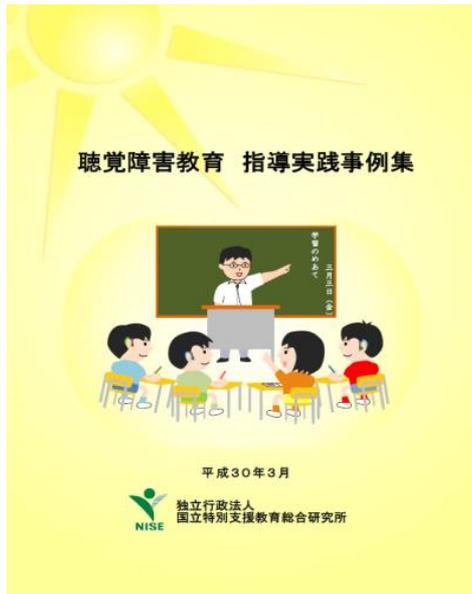
- ・テーマ別研究班（ICT、幼児教育、キャリア教育、外国人児童生徒等）による基礎的研究活動
- ・障害種毎の研究班による基礎的研究活動
- ・外部資金研究（科研費等）

など

研究成果の還元

研究成果は、教育現場向けの事例集やガイドブック、リーフレット等として情報提供を行っており、ウェブサイトからダウンロードして活用ができます。

また、メールマガジンや研修事業、研究成果の普及を図るためのセミナーの開催などを通して広く普及を図っています。



事例集



リーフレット



刊行物（市販）

研究成果の還元

詳しくはこちらから御覧いただけます。

研究紹介ウェブサイト

<https://www.nise.go.jp/nc/study>

研究成果報告書

https://nc.nise.go.jp/report_material/research_results_publications

研究成果報告書サマリー

https://www.nise.go.jp/nc/report_material/research_results_publications/seminar_materials

研究所の活動や特別支援教育に関する啓発イベント

研究所公開

日 程 令和3年12月(予定)
場 所 国立特別支援教育総合研究所
(神奈川県横須賀市)



研究所を身近に感じていただける体験型のイベントです。

国立特別支援教育総合研究所セミナー

日 程 令和4年2月4日(金)、5日(土)
場 所 国立オリンピック記念青少年総合センター(東京都渋谷区)



研究所の活動や研究成果を報告します。

特別支援教育推進 セミナー

令和3年12月 広島大学
令和3年11月26日(金) 宮崎県教育研修センター
令和3年12月 山形県総合教育センター

関係団体と連携し、地域の課題に対応した内容で実施するブロック別開催のセミナーです。

インクルーシブ教育システム構築支援データベース（インクルDB）

インクルDB（インクルーシブ教育システム構築支援データベース）は、子どもの実態から、どのような基礎的環境整備や合理的配慮が有効かについて、参考となる事例を紹介しています。また、研修会での事例検討にも活用できます。インクルDBは、各学校の先生方だけでなく、保護者の方をはじめ、広く一般の方にもご利用いただくことができます。

平成30年9月下旬より、実践事例の取組を分かりやすくまとめた概要版（実践事例データベースⅡ）、令和2年3月からインクルDBを活用した研修例、交流及び共同学習の事例や関連情報を掲載しています。

令和3年4月事例掲載数：559件

Aさんは字を書くのが苦手で困っているみたい。なんとかしてあげたいわ。



①

そうだ！このあいだの研修会で「インクルDB」のお話があったわ。早速調べてみよう。



②

字を書くことに関するたくさんの事例があるわ。なるほど、こんな合理的配慮もあるのね。



③

保護者の方と支援の内容や方法について合意形成します。



④

Aさんは、字が書きやすくなったみたい。よかったわ。



⑤

合理的配慮や
基礎的環境整備の
に関する情報を
ダウンロードできます。

インクルDBウェブサイト <http://inclusive.nise.go.jp/> または

インクルDB



で検索！

発達障害教育関連情報の充実

●発達障害教育推進センターWEBサイトによる情報提供



コンテンツ

発達障害の理解

指導・支援

研修講義動画

発達障害Q & A

当研究所の研究

国の動向や法令

イベント情報

文部科学省と厚生労働省の両省による 家庭と教育と福祉の連携 「トライアングル」 プロジェクトのプロジェクト報告（平成30年3月）を踏まえ、国立障害者リハビリテーションセンター発達障害情報・支援センターと連携し、全てのライフステージにおいて切れ目のない支援が行われるよう、ポータルサイトを作成するなど、情報提供の充実を図る。

メールマガジン、LINEのご案内

メールマガジン

毎月ご案内。

【 主な内容 】

- N I S Eからのお知らせ
- N I S Eに関するトピックス記事
- 研究成果、海外情報の紹介
- 特別支援教育関連情報
- N I S Eダイアリー（理事長によるコラム）



下記のURLやQRコードより登録が可能です。

https://nc.nise.go.jp/about_nise/mail_mag

LINE

毎月2～3回ご案内。

【 主な内容 】

- N I S Eからのお知らせ
- HP未掲載のプチ情報

